安足地域麦類技術情報 No.3

令和 5 (2023)年 1 日 23 日 安足農業振興事務所

- 〇 雑草防除をしましょう
- 〇 麦踏みは 10 日~2週間おきに行いましょう
- 〇 排水対策を行いましょう

1 気象経過と生育概況

12月は、平年に比べて気温は平年並み、降水量は少なく、日照時間は平年並みに推移しました。

適期に播種できたほ場では、播種後に大雨が無く気象が安定 していたため、<u>生育は順調</u>です。

表 2022 年 12 月 1 日~31 日の気象 (観測地点:佐野市)

	今年	平年値	平年差•比
平均気温(℃)	5.6	5.4	0.2
降水量(mm)	26.0	31.3	83%
日照時間(h)	197.6	200.1	99%



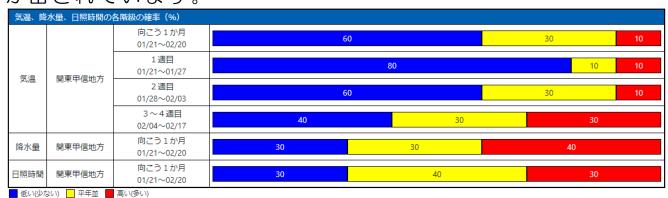
写真 麦の生育の様子(1月17日撮影)

播種日:11月18日

品種:ニューサチホゴールデン

2 今後の気象

気象庁の1か月予報(1月19日発表)によると、<u>向こう1か</u>月の気温は低い確率 60%、降水量は多い確率 40%という予報が出されています。



3 今後の栽培管理

(1)雑草防除をしましょう

雑草の発生を確認したら、<u>除草剤の処理時期を逸しないよう</u>に早めに対処しましょう。

発生している雑草	除草剤名	
スズメノテッポウ、一年生広	ハーモニー75DF 水和剤	
葉雑草		
ヤエムグラ、一年生広葉雑草	エコパートフロアブル	
一年生雜草	バサグラン液剤	

- ※除草剤(農薬)を使用する時は、ラベルの表示をよく確認し、基準を守って使用してください。
- ※麦の生育期に除草剤を使用する場合、雑草の生育が進むと効果が 劣るので注意しましょう。

(2) 麦踏みは 10日~2週間おきに行いましょう

- <u>麦踏みの回数は、年明けから茎立期直前(例年3月上中旬頃)</u> までに3回程度が目安です。
- ・間隔は、10日から2週間程度空けるようにしましょう。
- ・土壌が水分を多く含んでいる時に行うと、土が締まり湿害による根痛みを起こし、生育不良に繋がります。必ず土壌 が乾燥した状態で行いましょう。

麦踏みの効果

- ①分げつを進める
- ②根張りを良くし、耐寒性を高める
- ③霜柱などによる凍上害防止
- ④暖冬時、早すぎる茎立ちを抑える

(3)排水対策を行いましょう

今後は降水量が多いという予報が出されています。時々<u>排水口を点検し、必要に応じて溝さらい</u>を行いましょう。まだ<u>排水</u> 溝を設置していないほ場は早期に設置しましょう。

問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0283-23-1431 ホームページ https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html